

2011 年度決算説明会における主な質疑応答

実施日:2012 年 4 月 25 日

2011 年度決算説明会での主な質疑応答は次のとおりです。内容につきましては、ご理解いただきやすいよう部分的に加筆・修正しております。

Q1:モバイルセールス事業の携帯電話販売台数の内、スマートフォンの販売比率が2012年度は6割強になる見込みとの説明であったが、もう少し割合が高くなるのではないか。第4四半期の比率は何割であったのか。

A1:スマートフォンの販売比率は、第4四半期は6割弱、3月単月で6割であった。2012年度は年間で6割強の計画としているが、2011年度のように、予想を超える需要増となることが起こりうる。これに対応できるよう、教育を含めた人員体制を考えている。現時点では、7割まではいかないのではないかと思います。

Q2:モバイルセールス事業は、周辺商材の利益が増益に貢献したとのことだが、これには、アプリケーションのアフィリエイト事業で得られた利益も含まれているのか。アフィリエイト事業の利益と、本体ケースやSDカードなどの販売による利益はどちらが多いのか。今期はどのように見ているか。

A2:アプリケーションのアフィリエイト事業も含めて増益貢献があった。ケースなどのハードウェア系利益の方が多。今期はさらにこれらを伸ばしていく計画である。

以上